

ユニバーサルデザイン

～すべての人のためのデザイン～

「バリアフリー」は今あるバリア（障壁）を取り除くということであり、「ユニバーサルデザイン」は最初からバリアを作らないために、障がいの有無や年齢、性別などに関係なく、すべての人が安全に安心して使えるように、使う人の意見を聞きながらデザインすることをいいます。

ユニバーサルデザインの7つの原則

- ① だれにでも公平に利用できて、入手が容易に出来る。(公平性)
- ② 利用者に応じた使い方が出来る。(柔軟性)
- ③ 使い方が簡単ですぐにわかること。(単純性)
- ④ うっかりミスや危険につながらないこと。(安全性)
- ⑤ 必要な情報がすぐにわかること。(わかりやすさ)
- ⑥ 少ない力でも効率的に楽に使える。(効率性)
- ⑦ 利用しやすい適当な広さがある。(スペースの確保)

「ユニバーサルデザイン」も「バリアフリー」も、すべての人が平等に生活できる社会の実現をめざすうえでとても重要な役割をもっています。

みなさんも、日常生活の中での施設の利用や商品を購入するときに、すべての人に使いやすくなっているか、サービスや情報が平等に伝わっているかどうかを考えてみてはいかがでしょうか。

